１学年第３時　「南国の島」支援プラン　コミュニケーション基礎

【エクササイズ（ＥＸ）＆準備物】

　　ウォーミングアップ『しりとり』 ：準備物なし

　　メインＥＸ『南国の島』 　　　　：Ａ４上質紙一人につき２枚　掲示用の絵２種類

濃いめの鉛筆またはサインペンを一人１本

【ねらい】

　コミュニケーションがうまく取れるかどうかは、お互いが交流できるかどうかというところにある。それは、お互いが相手にベクトルを向け、インプットとアウトプットをくりかえす作業を通じて、考えやイメージを共有することができるのである。２枚の絵を描くことで、双方向のコミュニケーションがいかに大切であるかに気づいていく。

【概要】

　『しりとり』は、昔ながらの遊びのツールであるが、文字をつうじて繋がっていくことの心地よさを感じることができる。メインＥＸでは、２枚の絵（「夏の日の風景」「南国の島」）を教員の指示のもとに描いていく。お題は、「教員が見ている絵と同じ絵を描いて下さい。」というものである。１枚目の「夏の日の風景」では、質問を一切受けつけない。すると、子どもたちの絵は、個性豊かな違いが際だった絵になる。２枚目の「南国の島」では、質問することが許される。「わたしが見ている絵と、まったく同じ絵を描いてね。」ということを強調しておけば、質問が出やすい。完成した２枚の絵をそれぞれ班の中でシェアしていけば、同じイメージをもつためには質問する（訊く）ということの大切さと双方向のコミュニケーションの有用性に気づいていく。

【流れ】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| ウォーミングアップ | 『しりとり』  　班の中で、スタートする人を決め、順番に「しりとり」を行う。「ん」で終わる言葉がＮＧというだけでなく、その他にＮＧジャンル（例えば、花の名前、動物の名前、食べ物、地名など）を決めてやるのも面白い。 | ○班単位で行うので、その時の班の状態、個人の状態がよくわかる。子どもたちのレディネスをつくる。 |
| C:\Users\NEC-PC~1\AppData\Local\Temp\_js111E.png  エクササイズ | １枚目の絵『夏の日の風景』  ルール  1)情報内容と同じ絵を描いて下さい。  2)情報は２回言います。  3)質問は受けつけません。  4)他の人の作品を見てはいけません。  ＊情報の内容はｐ３４の課題用紙を参考にしてください。   1. 机を列にした状態で絵を描く。終了後見本の絵を見せる。   ②班にしてシェアをする。  （１枚目はロケット花火という斜めの構図が入っているので、自然とバラバラな絵になりやすいようになっている。） | ○はじめから「双方向のコミュニケーション」と提示してしまうと、子どもの「気づき」を奪ってしまう。  ○白紙＆ペンを配布  ○１枚目終了後のシェアリングが重要である。まわりの人たちと自分の作品をしっかりと見比べてもらう。 |
|  | 活動の流れ | 留意点・教具等 |
| エクササイズ  C:\Users\NEC-PC~1\AppData\Local\Temp\_jsB2CE.png | ２枚目の絵『南国の島』  ルール  1)情報内容と同じ絵を描いて下さい。  2)情報は２回言います。  3)質問を受けつけます。  4)他の人の作品を見てはいけません。   1. 列の状態で絵を描く。終了後、見本の絵を見せる。   ②班にしてシェアをする。 | ○質問を出しやすい雰囲気づくりをする。  ○絵の出来、不出来について絶対に論評しない。どうしてもふれざるを得ない場合は「個性的だね」くらいに留める。 |
| ふりかえり・シェアリング | ①グループで気づきを交流する。  　＊一回目の作品と二回目の作品をまわりと比べたときの気づき。  　 ＊一回目描きながら感じたことと、二回目描きながら感じたことを比べてみる。  ②ふりかえり用紙に記入する。 | フィードバックの視点  ・１枚目の作品は、個性がよくあらわれていて、作品の幅とバリエーションが豊かである。二回目の作品は、まわりとの共通点と共有できている部分が多くなってくる。 |

[参考文献]　『人間関係づくりトレーニング』星野 欣生 著　　金子書房

【ポイント】

　子どもは絵の出来、不出来を気にしてしまうので、全くそれは関係ないことを強調するだけでなく、「それぞれの絵が個性的である」ということを念頭に置いてフィードバックを返していけば、

子どもたちは伸び伸びと描くことができる。１枚目を終えたときに、どうしたら教員が見ている絵に近づけるかを話し合わせて２枚目に質問が出やすくするとよい。

|  |
| --- |
| 子どもの気づき |
| ・１枚目はどこに何をかいていいのかわからなかったけれど、２枚目は質問してもよかったのでかきやすかった。  ・１人１人違う絵を描いていて、十人十色だなあということを発見しました。  ・質問しないという条件だけで、正確に理解することの難しさを感じました。普段の会話でも相手の一方的な話だけで分かろうとするのでなく、自分の方からも問いただしたりして、理解を深めていきたいです。 |

|  |
| --- |
| 教員からのコメント |
| ・「気づき」が多く生じる優れたエクササイズだと感じました。普段、しゃべっていると、人の話を聞いているつもりでも、案外、自分がしゃべることに集中していて、聞いていないことがあります。コミュニケーションは少なくとも、しゃべると聞くとが半分半分が理想だと思いますが、結構、聞けてないなということに気づいていきます。まず、コミュニケーションという信号をしっかりとつかんでいくことが、次の段階である心から「聴く」というステージに昇ることができるのではないかと思いました。 |

＊道徳の内容項目との関連：　1-(1) 基本的な生活習慣　　2-(5) 寛容・謙虚

（担当：西村　勝美）